

「（仮称）古平・余市ウィンドファーム事業 環境影響評価方法書」の提出

2023年11月21日
関西電力株式会社

当社は、環境影響評価法等に基づき、「（仮称）古平・仁木・余市ウィンドファーム事業に係る計画段階環境配慮書※」等を2022年5月30日に経済産業大臣に提出し、北海道知事に意見を求めました。

[[2022年5月30日](#)お知らせ済み]

当該事業に関して本日、環境影響評価法に基づき、環境影響の調査、予測および評価方法等をまとめた環境影響評価方法書等を経済産業大臣へ提出を行い、北海道知事に意見を求めました。

方法書等は、本年11月22日から12月22日まで、関係行政機関および当社ホームページで公表します。

当社は引き続き、地域の皆さまや関係行政機関からのご意見を賜り、環境保全に十分配慮した事業開発の検討を進めてまいります。

当社グループは、2040年までに国内で新規開発500万kW、累計開発900万kW規模を目標に再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組み、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※ 環境の保全のために配慮すべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

以 上

別紙：（仮称）古平・余市ウィンドファーム事業の概要等

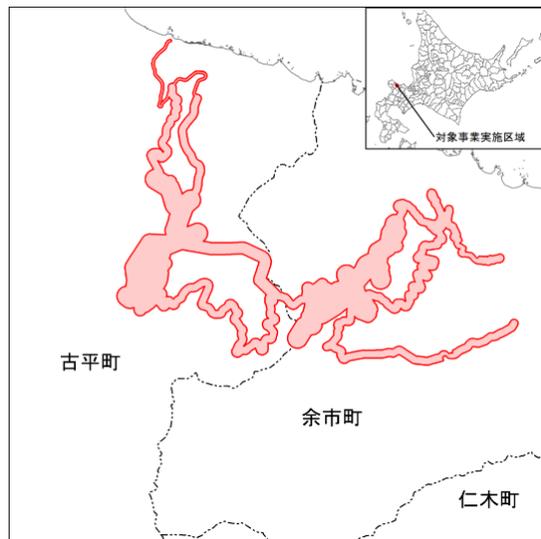
方法書の公表、縦覧及び説明会の案内については [こちら](#) をご覧ください。

＜（仮称）古平・余市ウィンドファーム事業※の概要＞

事業者	関西電力株式会社
場所	北海道古平郡古平町の北東及び余市郡余市町北西の山間部
設備規模 (発電出力)	最大 75,600 kW (4,200～6,100 kW級風力発電設備 最大18基)
今後の流れ	配慮書 → <u>方法書(今回)</u> → 環境調査 → 準備書 → 評価書

※ 配慮書段階では「（仮称）古平・仁木・余市ウィンドファーム事業」としていたが、事業の名称を変更した。

＜対象事業実施区域＞



※上図は国土地理院で公開されている地理院タイルを加工・編集

※赤線の範囲内が事業実施を想定している区域